



(敷地近辺より芥子山を望む)

穏やかな風景を感じられる、この地に暮らす喜びを感じられる生活の場を。

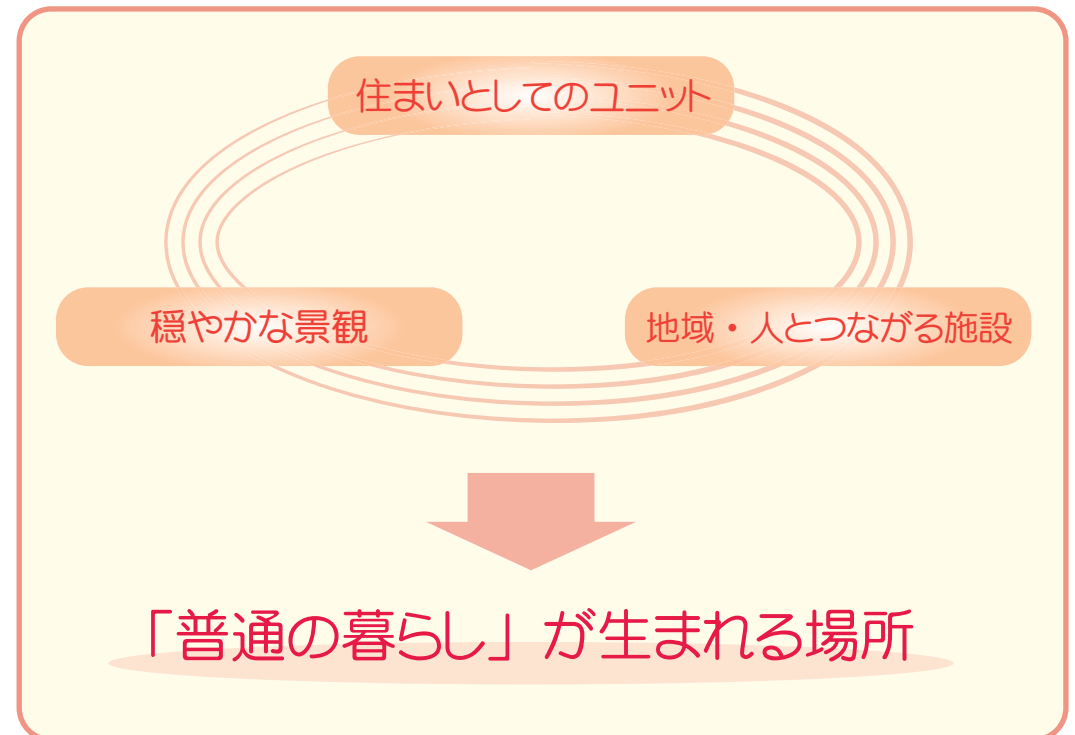


設計コンセプト

1. ユニットはひとつの家

私たちは特別養護老人ホームの中の「一つのユニットがひとつの家」と考えます。たとえ介護が必要になった人でも、芥子山を望むこの穏やかな風景の中で、その人らしさを大切に、普通の生活が送れるような建物を設計します。

また、施設の外からも気軽に訪れることが出来る環境を整え、地域とのつながりを感じられるつくりとし、ユニットケアの実現手法である段階的空間構成による計画としました。



※コンセプト概念図

2. 負担の少ない全体計画

認知症を患った高齢者にとって住環境の変化は悪影響を与えられます。

(リロケーションダメージ)

私たちは既存施設の利用者の方が移動する際の影響を低減する全体建設計画に加え、建物内部を家庭的な懐かしい住まいのようなつくりとすることで、利用する高齢者の方にとって優しい計画を提案します。

※家庭的なつくりのイメージ
(剣持設計実績写真)



全体構成

建物概要

所在地：岡山市東区吉原
 用途地域：指定なし（市街化調整区域）
 敷地面積：4900.38 m²
 容積率：200 %（119.66%）
 建蔽率：60 %（39.87%）
 建物用途：高齢者福祉施設
 （特別養護老人ホーム 10 室ユニット × 12）
 構造規模：鉄骨造 4 階建
 最高高さ：14.30 m

面積表

	延べ床面積	建築面積
4F	956.14 m ²	1953.83 m ²
3F	1619.47 m ²	
2F	1619.47 m ²	
1F	1668.65 m ²	
合計	5863.73 m ²	

特別養護老人ホーム（10 室 × 2） 託児所 屋上庭園・デッキ

特別養護老人ホーム（10 室 × 4）

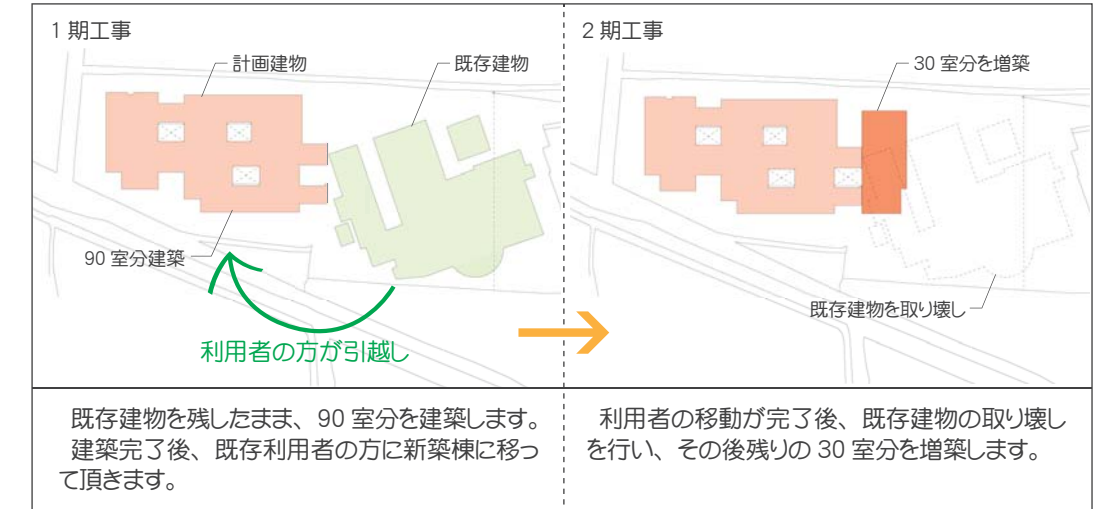
特別養護老人ホーム（10 室 × 4）

特別養護老人ホーム（10 室 × 2） 地域交流スペース 居宅介護支援事業所

建物配置検討

全体工事を 2 期工事として計画することで既存施設の利用者の引越しをスムーズに行うことが出来、尚且つ最大限のゆとりをもった計画が可能です。

※事業スキームイメージ



➡ 既存施設利用者の方の負担が少ない計画とします。



配置図兼屋根伏図 S = 1:500

